

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	陽光ホーム	評価対象年度	令和2年度
事業者名	・事業者名 社会福祉法人育桜福祉会 ・代表者名 星 栄 ・住所 川崎市中原区西加瀬10番3号	評価者	障害者施設指導課長
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日	所管課	健康福祉局障害保健福祉部 障害者施設指導課

2. 事業実績

利用実績	共同生活援助（定員 16名）在籍者 14名(令和3年3月31日現在) 地域生活体験事業（定員 1日2名）延利用日数 17日																																																																		
収支実績	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">【R2】</td> <td colspan="2">収入</td> <td colspan="2">支出</td> <td colspan="2">収支差額</td> </tr> <tr> <td>経常活動</td> <td>71,710千円</td> <td>経常活動</td> <td>72,054千円</td> <td colspan="4">-497千円</td> </tr> <tr> <td>給付費</td> <td>37,496千円</td> <td>人件費</td> <td>53,962千円</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>川崎市単独扶助</td> <td>16,990千円</td> <td>事務費</td> <td>2,456千円</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>指定管理委託料</td> <td>6,679千円</td> <td>事業費</td> <td>9,635千円</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>拠点区分間繰入</td> <td>0千円</td> <td>拠点区分間繰入</td> <td>6,000千円</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>10,545千円</td> <td>施設整備等</td> <td>153千円</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>71,710千円</td> <td>合計</td> <td>72,207千円</td> <td colspan="4"></td> </tr> </table> <p>※端数処理のため合計が一致しないことがあります。</p>			【R2】		収入		支出		収支差額		経常活動	71,710千円	経常活動	72,054千円	-497千円				給付費	37,496千円	人件費	53,962千円					川崎市単独扶助	16,990千円	事務費	2,456千円					指定管理委託料	6,679千円	事業費	9,635千円					拠点区分間繰入	0千円	拠点区分間繰入	6,000千円					その他	10,545千円	施設整備等	153千円					合計	71,710千円	合計	72,207千円				
【R2】		収入		支出		収支差額																																																													
経常活動	71,710千円	経常活動	72,054千円	-497千円																																																															
給付費	37,496千円	人件費	53,962千円																																																																
川崎市単独扶助	16,990千円	事務費	2,456千円																																																																
指定管理委託料	6,679千円	事業費	9,635千円																																																																
拠点区分間繰入	0千円	拠点区分間繰入	6,000千円																																																																
その他	10,545千円	施設整備等	153千円																																																																
合計	71,710千円	合計	72,207千円																																																																
サービス向上の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者とのコミュニケーションを大事にして、主体的に自分の思いを実現できる体制づくりに取り組み、ご本人の思いに沿ったさらなる地域移行が出来るように支援を行っている。 ・毎年利用者満足度調査を実施し、ホームに対する利用者の意見を、施設運営に反映させている。コロナウイルス感染防止に関する情報を、利用者の障害特性に合わせ分かりやすく伝えるなど、丁寧な支援に取り組んでいる。 																																																																		

3. 評価（評価段階：5～1,標準：3,加点割合：5→100%,4→80%,3→60%,2→40%,1→0%）

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
総合的な運営状況	利用者への支援	利用者に対する支援を着実に実施しているか	10	4	8
		利用者の障害特性に応じた個別支援等を実施しているか			
	事業成果	基本協定に規定する業務の範囲を適切に実施しているか	10	4	8
		指定管理施設としての事業目的を達成することができたか			
(評価の理由) ・個別支援計画について半年ごとにモニタリングを行い、利用者の思いが反映された計画に則り支援を行った。 ・休日の外出が実現できるよう、基本的な感染対策に加え、外出時間の短縮や帰所後の入浴などの感染対策を徹底し、利用者の余暇の過ごし方に対する意向を尊重した支援を行った。 ・平成31年度末に退所し一人暮らしをしている利用者に対し、電話連絡や定期訪問を行い、地域で継続して生活できるよう支援した。 ・徹底した感染対策により、職員、利用者ともに、コロナウイルスだけでなく、インフルエンザ等の感染症にも罹らなかった。					
収支状況	支出状況	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	4	4
		支出に見合う効果等が図られているか			
	収入状況	計画通りの収入が得られているか	5	3	3
		条例に基づく利用料等を適切に徴収しているか			
	適切な会計手続	会計基準に基づく会計処理がなされているか	5	4	4
		事業収支に関して適正な会計処理が為されているか			
(評価の理由) ・支出については、予算内で適正に支出されている。 ・収入については、利用者の欠員により、給付費収入が予算額を大幅に下回ったが、支出が予算内であったため、収支のマイナスは抑えることができた。 ・法人として、平成29年度から自主的に会計監査人監査を実施し、年間を通じた内部統制の評価や拠点の往査も行って、適正に会計処理されている。					
サービス体制	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	3	6
		利用者への支援を適時かつ十分に行っているか			
	サービス向上への取組み	現状分析、課題把握等を常に行っているか	5	4	4
		サービス向上に向けた取組みがなされているか			
	利用者の意見・要望への対応	意見・要望の収集方法を確立しているか	5	3	3
		利用者からの要望や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか			
(評価の理由) ・外出の制限や、通所先の休所による閉塞感で、ストレスや腹痛などの身体の痛みを訴える利用者に対し、視覚的に分かりやすくコロナウイルスに関するポスターの掲示や声掛け、少人数での外食やケーキ等のおやつ等の提供を行い、利用者の思いに寄り添うことや、理解を促す工夫を行った。 ・利用者の楽しみである食事については、利用者の健康状況や嗜好の反映、利用者の意見を取り入れた季節行事での特別食の提供を行った。 ・サービス管理責任者と支援員だけでなく、世話人に対しても支援の統一性を担保するため、面談や書面での情報共有を行っている。 ・近隣入所施設である桜の風からの栄養士の派遣により、食事提供に関するアドバイスを受け、サービス向上に取り組んでいる。					

組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員が必要な場所に適切に配置されているか	5	3	3
	連絡・連携体制	所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修等が行われているか	5	4	4
	安全・安心への取組	事故、犯罪、災害等から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	4	4
		緊急時の連絡体制を構築しているか			
	コンプライアンス	法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3
職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか	5	4	4	
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後の入所者の受け入れの方向性として、コミュニケーションの難しい重度の知的障害のある方を想定しており、その想定に基づき、行動援護従事者養成研修を受講するなど、必要な知識の獲得などスキルアップに努める事が定着している。 支援員が近隣入所施設の「リスクマネジメント委員会」や「権利擁護委員会」に参加し、危険対応や人権意識の向上に取組み、委員会報告を他職員にも周知している。 安全・安心の取り組みとして、「危機対応マニュアル」に基づき、事故等の対応や大規模訓練を行い、防災食の Pasta や乾パン、ビスコなどの食事を体験する機会を提供した。全員抵抗なく食べることができた。 当該施設は、土砂災害警戒区域内にあるため、土砂災害を想定した避難訓練を行っている。 すべての職員に対するメンタルチェックや、有給休暇が取りやすい環境づくりに取り組んだ。 					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	3	3
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか	5	2	2
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか	5	3	3
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	5	4	4
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> 建物管理等について、委託により適切な保守点検などが行われている。 管理記録の保管については課題が見受けられ、改善に向け取り組んでいる。 安全・安心を確保するため、環境整備と併せて日常的に事業所内外の整理整頓を心掛けるとともに、薬品等の保管場所を限定し、管理を行っている。 草刈機を購入し、定期的な草刈りを行っている。 点在していた備品を集約し、消耗品等の保管場所を限定したことで在庫管理などが容易になり、職員の備品に対する管理意識が向上と業務の効率化が達成できた。 					

4. その他加点

分類	項目	着眼点	評価点
その他加点	市の政策課題への取組	第三者へ一部の業務委託を行う際の市内中小企業者の受注機会の確保・拡大や地域包括ケアシステムの構築に向けた取組への協力、障害者の法定雇用率を越える雇用などを行っているか	0
	(評価の理由)		

5. 総合評価

評価点合計	70	評価ランク	B
-------	----	-------	---

評価点合計:100点満点,標準点:60点

評価ランク:A~E,標準::C,A→80点以上,B→70点以上80点未満,C→60点以上70点未満,D→40点以上50点未満,E→50点未満

A→特に優れている,B→優れている,C→適正である,D→改善が必要である,E→問題があり適切な措置を講じる必要がある。

6. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

<ul style="list-style-type: none"> 徹底した感染対策により、利用者の余暇活動や食事などの楽しみを損なわないよう工夫し、利用者の健康管理と思いを受け止めた支援を実施することができた。 ご家族や後見人、関係機関と日頃から密に連絡を取り、利用者が安心して暮らせるための必要な支援が行われている。

7. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

<ul style="list-style-type: none"> 感染対策を徹底しながら、利用者の意向を尊重した支援を実施したことは大いに評価できるため、今後も継続していただきたい。 地域生活体験事業については、他法人からの利用の増加に努め、地域移行に向けた支援を進めること。
--